

実践教育プログラムの参加募集について

数理・データサイエンス教育研究センター

数理・データサイエンス教育研究センターでは、文系・理系を問わず、様々なデータを適切に扱うことができる数理・データサイエンスに関する素養（数学、データ分析等）や、各自が習得する専門分野においてデータを扱う実践的な力を養う教育に取り組んでおります。

また、データに基づくコミュニケーションにより他者との協働を可能にする展開力を有する人材育成にも取り組んでおります。

本センターでは、学部学生及び大学院生（修士課程の学生のみならず、他の課程に属する大学院生も含む）を対象とし実践的な力や展開力を養成する教育プログラムを提供します。

1 実践教育プログラム

① 概要

このプログラムでは、卒業論文、修士論文などの研究における課題（自由課題）において、学生がその解決や企画提案を行う PBL (Project Based Learning) 演習を行います。PBL 演習を通じて、データ解析の技法（情報科学・数学・統計学に係る話題も可）である実践的な力を養成いたします。

エントリーした学生の研究テーマ・内容・レベルを審査し、数理・データサイエンスに特化した学内の教員とマッチングさせ、個別指導を行います。プログラム終了時には、最終レポート（別添様式）を提出してもらいます。

② 実施形態

- 数理・データサイエンスを専門とする教員の紹介
- 対面もしくはオンラインでの直接指導（約1時間ずつ3回ほど行います）
- 電子メール等による指導（5回程度）
- 必要に応じて、e-Learning 教材やセミナー等の紹介
- 最終レポート（別添様式）の提出

③ 募集およびエントリーの方法

本プログラムは、所属する課程や文理を問わず、全ての学部学生及び大学院生を対象にしています。希望する学生は、以下の Google フォームよりエントリーしてください。エントリー受付は令和8年6月30日（火）23:59まで行います。エントリー期限の終了後、指導等の実施方法について案内いたします。

令和8年6月30日（火）23:59まで

<https://forms.gle/1RzEQBGbjrDXCGV87>



過去に受講した学生のテーマや感想を下記 Web ページより参照できます。

<https://www.mdsc.hokudai.ac.jp/curriculum/pbl/>

④ 必要な消耗品等の支給について

学生が当プログラムに参加するために必要な経費を学生 1 人につき 5 万円を上限として当センターの事業費で負担いたします。なお、北海道大学 EXEX 博士人材フェローシップ、次世代 AI 博士人材フェローシップ、日本学術振興会特別研究員（学振 DC）等の事業により研究費の支援を受けている学生は、消耗品等の支援の対象外となります。

詳細については、エントリー審査後、個別にご案内いたします。

⑤ プログラム修了について

最終レポート（別添様式）を提出した学生はプログラム修了を認定し、希望者には修了証を発行します。

（本件担当）

学務部 学務企画課大学院教育改革推進室

数理・データサイエンス教育研究センター担当（袴田）

011-706-8892

mdsc@academic.hokudai.ac.jp

実践教育プログラム【自由課題】最終レポート（学生用）

北海道大学数理・データサイエンス教育研究センター

このたびは、「実践教育プログラム」へご参加いただきありがとうございました。
令和8年度の当プログラムの最終報告として、下の設問に回答をお願いいたします。

記入事項1. お名前・ご所属等

お名前		所属学部/研究科等	
マッチング教員名			

記入事項2. 当プログラムへの参加によって得られた知識等について

<p>■当プログラムで取り組んだ内容のテーマ名（卒業論文・修士論文等のテーマ名）とプログラム参加時の目標</p>
<p>■新しく得られた分析手法や成果について</p> <p>(例. ●●係数についての理解が深まった。その結果、●●データの●●分析が出来た。これによって、●●を進めることが可能になった。)</p>
<p>■マッチング結果に対する感想</p> <p>(例. ●●について指導を受けられ、研究の発展可能性が見えた。次回も参加できるのであれば、●●学部の先生からの指導も受けてみたい。)</p>
<p>■令和8年度の当プログラムの実施形態へのご意見 (以降の改良の参考にさせていただきます。)</p>
<p>■次年度以降に期待することなどの自由なコメント</p> <p>(例. ●●については、改良が望まれるが、一方で、●●については、●●である。次年度以降は、●●が実現するとより参加し易い。)</p>

記入日： 年 月 日